

Title	デジタルサイネージとモバイル連携：企業間連携の取り組みと推進
Sub Title	Digital signage linked with mobile devices : business to business interactions and management
Author	佐々木, 貴広(Sasaki, Takahiro) 中村, 伊知哉(Nakamura, Ichiya)
Publisher	慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科
Publication year	2011
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	<p>デジタルサイネージは、時間と場所と人を特定できるメディアであり、ネットワーク環境が整備され、広告媒体だけではなく、病院や学校等の公共機関の利用も増え、より一層注目されている。デジタルサイネージに関しては、まだ開拓の余地が多く残されており、デジタルサイネージをモバイル端末と連携させるサービスもその一つである。</p> <p>本研究ではデジタルサイネージを一大産業にするための可能性としてモバイル端末との連携に注目し、実際のビジネスにするためのプラットフォーム構築および運営を行った。</p> <p>現在においてモバイル連携サービスが十分に実現できてない理由・課題を浮き彫りにしビジネスの開発が行いやすい土壌を作ることで、デジタルサイネージ事業者、および開発者に役立つことを目的とする。</p>
Notes	修士学位論文. 2011年度メディアデザイン学 第164号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40001001-00002011-0164

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

2011年度 修士論文

デジタルサイネージとモバイル連携
企業間連携の取り組みと推進



KEIO MEDIA DESIGN

慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科

佐々木 貴広

本論文は慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科に
修士(メディアデザイン学) 授与の要件として提出した修士論文である。

佐々木 貴広

指導教員：

中村 伊知哉 教授 (主指導教員)

杉浦 一徳 准教授 (副指導教員)

審査委員：

中村 伊知哉 教授 (主査)

杉浦 一徳 准教授 (副査)

加藤 朗 教授 (副査)

デジタルサイネージとモバイル連携 企業間連携の取り組みと推進

内容梗概

デジタルサイネージは、時間と場所と人を特定できるメディアであり、ネットワーク環境が整備され、広告媒体だけではなく、病院や学校等の公共機関の利用も増え、より一層注目されている。デジタルサイネージに関しては、まだ開拓の余地が多く残されており、デジタルサイネージをモバイル端末と連携させるサービスもその一つである。

本研究ではデジタルサイネージを一大産業にするための可能性としてモバイル端末との連携に注目し、実際のビジネスにするためのプラットフォーム構築および運営を行った。

現在においてモバイル連携サービスが十分に実現できてない理由・課題を浮き彫りにしビジネスの開発が行いやすい土壌を作ることで、デジタルサイネージ事業者、および開発者に役立つことを目的とする。

キーワード

デジタルサイネージ, モバイル, サービス, 白書

慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科

佐々木 貴広

Digital signage linked with mobile devices

Business to business interactions and management

Abstract

We can deliver information to focus on specific time, location and people by digital signage. Digital signage are used in public institutions like hospital increasingly in Japan. So people are interested in digital signage more and more. There is much room to develop business for digital signage.

Especially, I'm interested in digital signage linked with mobile devices. Because I think it is necessary for digital signage to link with mobile devices to expand digital signage market.

I introduce my research to fulfill digital signage linked with mobile devices. I discussed it with specialists of each industry and built a platform.

The object of research is to help digital signage developer and business persons and to expand digital signage market .

Keywords:

Digital Signage, Mobile, Service, White paper

Graduate School of Media Design, Keio University

Takahiro Sasaki